

単元名 こんにちは けんぱんハーモニカ

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わり気付くとともに、楽器の扱い方やドレミファソの鍵盤の位置、息の遣い方など基礎的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けることができる。

(2) 旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつことができる。

(3) 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

01070106\_001

【教材名】 どこどこど (歌唱 器楽) まほうのど (器楽) あのね (歌唱 器楽) どんぐりぐりぐり (歌唱 器楽) (P. 32～P. 39)

【準備等】 範唱CD、鍵盤ハーモニカ

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 鍵盤ハーモニカで自由に音を出して遊んだり「どこどこど」や「まほうのど」を楽しく演奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○楽器の扱い方を知り、学習課題をつかむ。</li> <li>★「ど」のおとで あそぼう</li> <li>○音出しをする。</li> </ul> <p>○「ためしてみよう」をする。</p> <p>○ドの位置を知る。</p> <p>○舌で息を区切って「トゥー トゥー」と音を出す。</p> <p>○「どこどこど」を演奏する。</p> <p>○「まほうのど」を演奏する。</p> <p>○楽器のしまい方を知る。</p> <p>2 「あのね」を楽しく演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の復習をして、学習課題をつかむ。</li> <li>★どれみのおとで あそぼう</li> <li>○「ドレミ」の位置を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の合図に合わせて上行・下行を吹く。</li> </ul> </li> </ul> <p>○「あのね」を演奏する。</p> <p>3～4 「どんぐりぐりぐり」を指の形に気を付けながら演奏</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口をつける楽器なので、衛生面での注意を促す。</li> <li>・音を出す前に「タンブリンを3回鳴らしたら歌口を口から離す」などの約束しておく。始めは、運指は気にせず、鍵盤のいろいろなところを押して鳴らさせる。</li> <li>・すずめや猫、ぶた、ぞうなどの鳴き声をまねして吹かせる。</li> </ul> <p>【共通事項】音色</p> <p>【評】楽器の音色と演奏の仕方とを関わらせて演奏する活動を通して、「知識」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒鍵を目印にするとドの位置がわかることを説明する。また、教科書の鍵盤の写真が原寸大になっているので、実物と合うように置かせると、位置が確認しやすい。</li> <li>・タンギングについて、言葉で教えるのは難しいので、感覚的につかませるようにする。</li> <li>・歌詞唱をして曲の流れをつかませてから演奏させる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカパートは、教師がドの音だけでリズムを吹き、続いて児童にまねをさせる</li> </ul> <p>【共通事項】呼びかけとこたえ</p> <p>【評】「ど」の鍵盤の位置、息の遣い方などに気を付けて演奏する活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンギングを使って、同じ音は指を押さえたままで音を区切るように演奏させる。</li> <li>・フレーズのまとまりを意識させる。</li> </ul> <p>【共通事項】フレーズ</p> <p>【評】旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つば抜きを押して、楽器の中のつばを抜いてからしまう習慣を身に付けさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに、演奏方法や楽器の扱い方などを復習しておく。</li> <li>・教科書の鍵盤の写真が原寸大であるので、実物に合わせて置き、ドレミの位置を確認する。また、指の動きとタンギングのタイミングがぴったり合うように指導する。</li> <li>・歌詞唱をして、曲の流れをつかませてから演奏させる。</li> <li>・階名（ドレミ）で歌ってから、鍵盤で演奏する。4段目の2小節ずつの掛け合いは、子どもの表現したい言葉を音に置き換えるのは難しいので、教師が置き換えてやるとよい。</li> </ul> <p>【評】鍵盤ハーモニカで演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p>

する。

○前時までの復習をして，学習課題をつかむ。

★「どれみふあそ」の おとで あそぼう

○ファとソの鍵盤の場所を確認し，教科書P.38の○の中に音を入れて，旋律をつくる。

・指の位置を確認する。

・リズムの確認をする。

・○の中に音を書く。

○つくった旋律を発表したり，リレーしてつないで演奏したりする。

○「どんぐりぐりぐり」を演奏する。

・歌詞唱をする。

・階名唱をする。

・指番号で歌う。

・楽器で演奏する。

・鍵盤が順番に並んでいること，右にいくほど高くなっていくこと（左にいくほど低くなっていくこと）をつかませる。

・「まなびリンク」の動画を活用してもよい。

・「たん たん たん うん」のリズムを確認しておく。

・指の形を確認しながら，つくった旋律を音に表して，演奏を交流させる。

・はじめに，階名（ドレミ…）唱や歌詞唱をしてから，鍵盤の練習をする。4小節ごとに，先生→児童，児童→先生…と，まねっこのように練習するとよい。

【評】基礎的な演奏技能に気を付けながらリズム譜などを見て演奏する活動を通して「技能」を評価する。

【 備 考 】